

## 2008/3/3 第13回日本バイオ産業人会議(JABEX)総会

### 歌田世話人代表挨拶

本日はお忙しい中、第13回日本バイオ産業人会議 JABEX の総会にご出席頂きありがとうございます。JABEX は1999年6月に「日本の広範なバイオ産業界の代表者が結集して、日本のバイオ産業の健全な発展のため、バイオ産業界が抱える課題に取り組み、提言し、行動する」組織として発足しました。

2002年には「BT(バイオテクノロジー)戦略大綱」策定に参画、「BT 戦略会議」の設置を通して産学政官連携の活動を行い、バイオ産業界の発展に貢献してきたと考えています。これもひとえに会員各位のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

最近の JABEX の活動では、2006年10月から、いわゆる「ドラッグ・ラグ」問題解消に向けて「医療・臨床研究改革推進委員会・同WG(ワーキング・グループ)」の活動を展開し、政策提言をまとめ、関係省庁・団体などへの働きかけを行い、大きな前進をみたと考えています。

さて、「BT 戦略大綱」の約200項目は第三期科学技術基本計画などにも組み込まれ推進されています。しかしながら、世界に目を転じると、バイオ産業界の発展成長率は極めて高く、2001年からの5年間で米国は219%、欧州は153%、カナダやアジア・太平洋地区では約300%の伸びを示しています。日本でも、実質経済成長率は110%ですが、バイオ産業は139%と高い成長率ですが、発展スピードが遅いという課題があります。このままでは日本の国際競争力は低下し、国家の活力が損なわれると危惧されます。

このような危機感から、2007年9月から、JABEX は「BT 戦略大綱」の見直しと、BT 戦略推進の司令塔機能の更なる強化を政府・関係省庁に働きかけてきました。その結果、関係6大臣・有識者・産業界代表が出席する「BT 戦略推進官民会議」が開催されることになりました。この会議で「BT 推進重点戦略(仮称)」(案)を策定することになりました。

JABEX としてもバイオ産業界の立場から「BT 推進重点戦略」に盛り込むべき内容を提言するために、「BT 推進検討委員会」を発足させ活動を開始することにしました。この委員長には平田世話人副代表にお願いしてご快諾をいただきました。この活動は大変重要と考えております。会員各位のご指導・ご協力を切にお願いする次第であります。本日はこの問題につき是非とも忌憚のないご意見を頂戴したいと考えております。バイオ産業界が、活力ある日本のために貢献したいと考えますので、どうぞよろしく申し上げます。